

教育・研究業績書

領域名 基礎看護学		
<教員の紹介>		
教授 米澤 弘 恵 准教授 荒添 美 紀 講師 石綿 啓 子 講師 豊田 省 子		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月	概 要
(1) 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 学生参加型の授業の促進	2007年4月～現在	ジグソー学習法などを取り入れたグループワークを多く取り入れたり、ポートフォリオのワークシートを活用して、学生参加型授業を推進している。その結果、学生は他の学生の考え方や意見を聞けることが楽しいと授業に意欲的に参加し、また、自己の学習目標、学習内容、学習課題を明確化して学習に取り組むのに役立てており、自分の意見や考え方を論理的に表現することや、物事を深く捉えるための基礎的能力の育成の一助になっている。
2. 検証型看護援助技術教育の推進	2008年4月～現在	科学的根拠に基づいた技術教育を図るため、基本的な技術学習に、その技術の根拠を検証するための実験演習を行っている。看護技術の根拠を科学的に検証するための実験演習時間を設け、科学的根拠を論理的に学び、その成果をグループごとにまとめて発表することで、クラス全員で共有する中で学習をさらに深めている。学生は仮説を立てて、自ら計画して根拠を自分で確認する中で、看護技術の科学的な根拠を確立する難しさも学び取っている。
3. 基礎看護学実習の看護観確立の基盤づくりを重点にした教育の推進	2008年4月～現在	基礎看護学実習では、学生の看護観の育成に重点を置いている。学生が直接対象者に接し、援助する中で、人間の捉え方、病者の捉え方、医療者、看護者の捉え方など体験を、自己の言動と同時に

4. 学生による授業評価の活用	2007年4月～現在	感情も客観的、分析的に受けとめられる能力を育成することで、看護の方向性と自己の看護観が育成できることを重視して、学生の無意識な体験をできるだけ意識化するように指導している。 各科目授業終了時に行われている授業評価アンケートの結果は、次期の授業に生かした授業内容、授業方法に具体的に反映させて、学生の学習が深まるように活用している。
② 作成した教科書、教材、参考書		
「看護援助方法論」の教材作成	2008年4月～現在	授業内容と演習内容を一つの教材として、各単元毎に配布し、学生の理解と学習の一助としている。また、初回授業時には、基礎看護学実習室を十分活用するためのガイダンス資料「基礎看護学実習室オリエンテーション」を小冊子にして配布し、援助技術の習得が主体的に学習できるようにしている。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		
愛知県看護協会認定看護管理者教育セカンドコース 講義・演習	2004年5月～2007年3月	看護理論、看護研究の実践への活用について、講義、演習を通してこのコース終了時の研究論文作成のための基礎について指導した。
第4回愛知県立看護大学看護研究会セミナー 講義	2004年5月	看護研究について講義し、具体的研究テーマに沿って、テーマの絞込み、研究計画、調査、データ分析、論文の書き方、学会発表を指導した。
福井赤十字病院看護研究研修会 講義	2004年5月～2005年7月	看護研究について講義し、具体的研究テーマの絞込み、データ分析、特に統計解析の具体的方法を講義、指導した。
福井県看護協会認定看護管理者教育ファーストコース 講義	2004年9月～2005年9月	人的資源の活用の中で、看護観再考、対象理解と看護への活用、日常業務の問題解決視点について講義した。

教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
基礎看護学	教授	米澤 弘恵	
II 学会等および社会における主な活動			
1974年 4月～現在	日本看護協会会員		
1988年 12月～現在	日本看護科学学会員		
1990年 6月～現在	日本看護研究学会員		
1991年 2月～現在	日本生命倫理学会員		
1992年 7月～現在	日本看護学教育学会員		
1995年 12月～現在	日本看護診断学会員		
1997年 5月～現在	日本看護管理学会員		
2000年 7月～現在	日生気象学会員		
2001年 12月～現在	生物試料分析科学学会員		
2002年 3月～現在	日本看護医療学会評議委員 (2008. 4. ～2011. 3.) 査読委員 (2006. 10～現在)		
2003年 2月～現在	日本生理心理学会員		
2004年 4月～現在	日本呼吸管理学会員		
2004年 4月～現在	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会員		
III 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 森田敏子, 式守晴子, 太田節子, 大西文子, 塚越フミエ, 宮岡久子, 滝島紀子, 山勢博彰, 石津みゑ子, 任和子, 塚本尚子, <u>米澤弘恵</u> , 黒江ゆり子, 野川道子, 片岡純, 松浦和代, 森川浩子, 宮本千津子, 藤田佐和, 広瀬会里: 第3章「人間の心理行動を理解するための中範囲理論」8節自己同一性/アイデンティティ. やさしく学ぶ中範囲理論: 191-207, 2005.			
2. 佐藤栄子, 箭野育子, 原田真澄, 森田敏子, 河野洋子, 荻野夏子, 多田節子, 大西文子, 塚越フミエ, 宮岡久子, 滝嶋紀子, 伊東美佐江, 山勢博彰, 尾沼奈緒美, 志村千鶴子, 広瀬会里, 石津みゑ子, 任和子, 塚本尚子, <u>米澤弘恵</u> , 荻野 雅, 黒江ゆり子, 野川道子, 片岡 純, 服部淳子, 藤田佐和, 中村百合子, 松浦和代, 眞壁玲子, 宮本千津子: 第3章「人間の心理行動の理解」8節自己同一性/アイデンティティ. 中範囲理論入門 第2版, 日総研: 288-305, 2009.			
【原 著】			
和文			
1. 荒木真壽美, <u>米澤弘恵</u> , 石津みゑ子, 長谷川智子, 上原佳子, 上木礼子, 島崎直子, 三浦 愛: 入院患者の不安と環境認知との関連. 日本看護医療学会誌 第7巻1号: 57-66, 2005.			
2. 長谷川智子, 石崎武志, 上原佳子, 上木礼子, <u>米澤弘恵</u> : 医療機関に勤務する職員の喫煙行動と喫煙に対する知識と態度. 福井大学医学部研究雑誌 第6巻1・2号: 17-25, 2005.			

3. 月田佳寿美, 長谷川智子, 米澤弘恵, 上原佳子, 上木礼子: 温泉施設利用者の温泉の利用状況と身体への主観的・客観的効果の検証—循環動態と気分の変化について—. 日本看護医療学会Vol. 9 No. 1: 1-7, 2007.
4. 石綿啓子, 茂木泰子, 米澤弘恵, 佐藤佳子, 豊田省子, 荒添美紀: 基礎看護学実習(直前)の手洗い演習が主体的学習態度に与える因子. 獨協医科大学看護学部紀要1巻: 29-36, 2007
5. 豊田省子, 米澤弘恵, 荒添美紀, 野中静, 石綿啓子, 佐藤佳子, 小口多美子, 村松由紀, 若尾ふさ, 佐々木由恵, 樺澤一之「清拭刺激」による大脳皮質血流量への影響—NIRS(光トポグラフィ)による検討—. 獨協医科大学看護学部紀要第1巻: 37-48, 2007.
6. 佐藤佳子, 米澤弘恵, 荒添美紀, 石綿啓子, 豊田省子, 大下静香: 看護師のプリセプターとしての役割意識. 獨協医科大学看護学部紀要1巻: 13-22, 2007.
7. 上木礼子, 米澤弘恵, 長谷川智子, 荒木真壽美: 血液暴露の可能性のある場面における看護師の手袋着用への行動意図とその影響要因の分析. 境感染誌 Vol.23 no.3 : 181-186, 2008.
8. 藤井真砂子, 米澤弘恵, 長谷川智子, 上木礼子, 大久保清子, 大口二美: 転倒が予測される看護場面のリスク評価に影響する要因. 日本看護管理学会 vol.12 no.2 : 32-41, 2009.

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】

和文

1. 田邊美智子, 重松陽介, 石崎武志, 大越扶貴, 宮崎徳子, 米澤弘恵, 長谷川智子, 月田佳寿美, 上原佳子, 細谷たき子, 長谷川美香, 岩田浩子, 磯見知恵, 吉川日和子, 麻生佳愛, 高柳智子, 山田由佳里, 山田須美恵, 佐々木綾子, 東 博美, 平澤久一: 2005年度 本番さながら 看護師国家試験予想問題. メディカ出版: 1-44, 2004.
2. 長谷川智子, 米澤弘恵, 月田佳寿美, 上原佳子, 上木礼子: 美浜町の健康福祉・産業活性化を目指した温浴・産業振興施設の研究—美浜町温泉の健康増進に関する効果—. 平成16年度～平成17年度福井県美浜町研究助成金報告書: 2005.
3. 石津みゑ子, 米澤弘恵, 木山幹恵: 看護倫理の基礎知識1. 呼吸器&循環器ケア第5巻1号: 60-64, 2005.
4. 米澤弘恵, 石津みゑ子, 木山幹恵: 看護倫理の基礎知識2. 呼吸器&循環器ケア第5巻2号: 50-54, 2005.
5. 木山幹恵, 石津みゑ子, 米澤弘恵: 看護倫理/インフォームド・コンセントにおけるQ&A. 呼吸器&循環器ケア第5巻3号: 107-111, 2005.
6. 石津みゑ子, 米澤弘恵, 木山幹恵, 青山祐子, 上木礼子: 看護倫理/転院・退院におけるQ&A. 呼吸器&循環器ケア 第5巻4号: 114-118, 2005.
7. 米澤弘恵, 石津みゑ子, 木山幹恵: 看護倫理/患者に対する言葉遣いのQ&A. 呼吸器&循環器ケア第5巻5号: 62-66, 2005.
8. 田邊美智子, 重松陽介, 石崎武志, 大越扶貴, 米澤弘恵, 長谷川智子, 月田佳寿美, 上原佳子, 細谷たき子, 長谷川美香, 岩田浩子, 磯見知恵, 吉川日和子, 麻生佳愛, 山田由佳里, 山田須美恵, 佐々木綾子, 平澤久一: 2006年度 本番さながら 看護師国家試験予想問題. メディカ出版: 20-35, 2005.

9. 木山幹恵, 石津みゑ子, 米澤弘恵, 大原由起子: 看護倫理/家族における対応のQ&A. 呼吸器&循環器ケア 第5巻6号: 45-49, 2006.
10. 石津みゑ子, 米澤弘恵: 在宅高齢者の主観的睡眠感と生活リズムに関する研究. 文部科学省研究費補助金 基盤研究(C)(2), 平成15年度~平成17年度報告書: 1-63, 2007.
11. 糸川嘉則, 交野好子, 成清美治, 西尾祐吾, 高鳥真理子, 佐伯恵子, 谷口好美, 樋口京子, 吉村洋子, 伊藤明子, 米澤弘恵, 他131名: 看護・介護・福祉の百科事典, 基礎看護—看護と人間を執筆. 朝倉書店: 40-47, 2008.
12. 米澤弘恵, 石津みゑ子: 感染予防隔離時の看護倫理的意思決定および実践への教育プログラムの作成. 文部科学省研究費補助金 基盤研究(C), 平成18年度~平成20年度報告書: 1-6, 2009.

教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
基礎看護学	准教授	荒添 美紀	
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1996年 3月～現在	日本看護研究学会員		
1996年 3月～現在	日本看護学教育学会員		
1999年 6月～現在	日本心理学・日本認定心理士学会員		
2000年 6月～現在	日本カウンセリング学会員		
2002年 10月～現在	看護教育研究学会員（前：日本看護技術研究学会）		
2007年 4月～現在	日本看護協会員		
2007年 7月～現在	獨協医科大学医学会員		
2007年 7月～現在	日本看護科学学会員		
2007年 11月～現在	日本行動医学会員		
2008年 8月～現在	日本コミュニケーション学会員		
2007年 4月 ～2008年 12月	第41回 日本カウンセリング学会準備委員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>荒添美紀</u> ：機能障害と生活への援助の中の消化機能障害と生活への援助－食道ガン．川野雅資監修，伊藤まゆみ編，－看護学実践－Science of Nursing－ 成人看護学 慢性期・ターミナルケア KK日本放射線技師会出版社，pp232-243，2007.			
2. <u>荒添美紀</u> ：機能障害と生活への援助の中の消化機能障害と生活への援助－食道ガン．川野雅資監修，伊藤まゆみ編集，－看護学実践－Science of Nursing－ 慢性期看護 緩和・ターミナルケア KK日本放射線技師会出版社，pp244-255，2008.			
【原 著】			
和文			
1. 佐藤佳子，米澤弘恵， <u>荒添美紀</u> ，石綿啓子，豊田省子，大下静香：看護師のプリセプターとしての役割意識．獨協医科大学看護部紀要 第1巻：13-22，2008.			
2. 石綿啓子，茂木泰子，米澤弘恵，佐藤佳子，豊田省子， <u>荒添美紀</u> ：基礎看護学実習（見学）直前の手洗い演習が主体的学習態度に与える因子．獨協医科大学看護部紀要 第1巻：29-36，2008.			
3. 豊田省子，米澤弘恵， <u>荒添美紀</u> ，野中静，石綿啓子，佐藤佳子，小口多美子，村松由紀，若尾ふさ，佐々木由恵，横澤一之：清拭刺激による大脳皮質血流量への影響 - NIRS (near-infrared spectroscopy：光トポグラフィ) による検討 - ．獨協医科大学看護部紀要 第1巻：37-48，2008.			
4. <u>荒添美紀</u> ：看護場面におけるコミュニケーションの目的およびコミュニケーション・スキル．日本看護技術研究会学会誌 5巻1号：66-76，2007.			

5. 荒添美紀, 石綿啓子, 佐藤佳子, 鈴木明美, 成沢友美:看護学生の看護場面におけるコミュニケーション・スキルの変化とその要因. 獨協医科大学看護部紀要 第2巻:12-23, 2009.

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】

和文

1. 荒添美紀, 齋藤茂子, 栗原良子:今日から使える実習指導案 第2回 基礎看護学の実習指導案. 看護展望 30巻9号 メヂカルフレンド社:1040-1047, 2005.
2. 荒添美紀, 浅野滯子:消化器疾患患者とのコミュニケーション. ナーシングカレッジ 9巻9号 医学芸術社:75-79, 2005.
3. 栗原良子, 齋藤茂子, 荒添美紀:今日から使える実習指導案 第3回 成人看護学(急性期)の実習指導案. 看護展望 30巻10号 メヂカルフレンド社:1166-1172, 2005.
4. 荒添美紀, 齋藤茂子, 栗原良子:今日から使える実習指導案第4回 成人看護学(慢性期)の実習指導案. 看護展望 30巻11号 メヂカルフレンド社:1274-1279, 2005.
5. 栗原良子, 齋藤茂子, 荒添美紀:今日から使える実習指導案 第5回 老年看護学の実習指導案. 看護展望 30巻12号 メヂカルフレンド社:1376-1382, 2005.
6. 主演治子, 荒添美紀, 齋藤茂子, 栗原良子:今日から使える実習指導案 第6回 母性看護学の実習指導案. 看護展望 30巻13号 メヂカルフレンド社:78-85, 2005.
7. 今鷹瑞, 齋藤茂子, 荒添美紀, 栗原良子:今日から使える実習指導案 第7回 小児看護学の実習指導案. 看護展望 31巻1号 メヂカルフレンド社:102-108, 2006.
8. 徳江真理美, 荒添美紀, 齋藤茂子, 栗原良子:今日から使える実習指導案 第8回 在宅看護論の実習指導案看護展望 31巻2号 メヂカルフレンド社:102-109, 2006.
9. 栗原良子, 荒添美紀, 齋藤茂子:今日から使える実習指導案 第9回 精神看護学の実習指導案. 看護展望 31巻3号 メヂカルフレンド社:104-109, 2006.
10. 荒添美紀, 栗原良子, 齋藤茂子:今日から使える実習指導案 第10回 成人看護学(終末期)の実習指導案. 看護展望 31巻4号 メヂカルフレンド社:102-109, 2006.
11. 栗原良子, 荒添美紀, 齋藤茂子:今日から使える実習指導案 第11回 准看護師の実習指導案. 看護展望 31巻5号 メヂカルフレンド社:102-108, 2006.
12. 荒添美紀:基礎看護学Ⅰの実習指導案. 看護展望 臨時増刊号 34巻第2号 メヂカルフレンド社:25-32, 2009.
13. 荒添美紀:基礎看護学Ⅱの実習指導案. 看護展望 臨時増刊号 34巻第2号 メヂカルフレンド社:33-43, 2009.
14. 荒添美紀:成人看護学Ⅰ(慢性期)の実習指導案. 看護展望 臨時増刊号 34巻第2号 メヂカルフレンド社:44-53, 2009.
15. 荒添美紀, 栗原良子:成人看護学Ⅰ(急性期)の実習指導案. 看護展望 臨時増刊号 34巻第2号 メヂカルフレンド社:54-64, 2009.
16. 荒添美紀:成人看護学Ⅰ(終末期)の実習指導案. 看護展望 臨時増刊号 34巻第2号 メヂカルフレンド社:65-78, 2009.

教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
基礎看護学	講師	石綿 啓子	
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1978年～現在	(社)日本看護協会員		
1989年～現在	埼玉県看護協会員		
1999年～現在	日本生涯教育学会員		
2003年～現在	日本看護学教育学会員		
2006年～現在	日本心理学会員		
2007年～現在	日本看護診断学会員		
	日本看護科学学会員		
	日本看護研究学会員		
	日本看護技術学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. 石綿啓子, 赤石三佐代, 松田厚恵, 延原弘章: 看護学生の進路上的悩みとストレス対処行動の実態及び成績との関連. 高崎健康福祉大学紀要 第3号: 45-56, 2004			
2. 石綿啓子: 基礎看護学実習における学生の学び—患者理解に焦点を当てて—. 高崎健康福祉大学紀要 第4号: 113-124, 2005			
3. 石綿啓子: 基礎看護学実習における学生の学び—実習成果に焦点を当てて—. 高崎健康福祉大学紀要 第4号: 125-140, 2005			
4. 石綿啓子: 基礎看護技術演習にロール・プレイングを実施した場合の観察者としての反応と学び. 高崎健康福祉大学紀要 第5号: 83-92, 2006			
5. 石綿啓子: 基礎看護技術演習に教師が役割演技をした場合の学習効果. 高崎健康福祉大学紀要 第5号: 73-82, 2006			
6. 石綿啓子: 基礎看護技術演習における自主学習時間の活用方法の検討. 高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要 第3巻 第2号: 31-43, 2006			
7. 石綿啓子: 見学実習前の手洗い演習が、実習と生活に及ぼす影響. 高崎健康福祉大学紀要 第6号: 29-37, 2007			
8. 石綿啓子: 手洗い演習の到達度からみた学習効果. 高崎健康福祉大学紀要 第6号: 39-49, 2007			
9. 久保川真由美, 石綿啓子, 茂木泰子: 老年看護学における看護過程の教育実践 グループワーク段階的指導、ロールプレイングを取り入れた看護基礎教育課程の授業展開から. 看護診断 13巻1号: 21-27, 2008			
10. 佐藤佳子, 米澤弘恵, 荒添美紀, 石綿啓子, 豊田省子, 大下静香: 看護師のプリセプターとしての役割意識. 獨協医科大学看護学部紀要 第1巻: 13-22, 2008			

11. 石綿啓子, 茂木泰子, 米澤弘恵, 佐藤佳子, 豊田省子, 荒添美紀 : 基礎看護学実習 (見学) 直前の手洗い演習が主体的学習態度に与える因子—「見学実習に活かしたいこと」の記述内容から—. 獨協医科大学看護学部紀要 第1巻:29-36, 2008
12. 豊田省子, 米澤弘恵, 荒添美紀, 野中静, 石綿啓子, 佐藤佳子, 小口多美子, 村松由紀, 若尾ふさ, 佐々木由恵, 樺澤一之 : 「清拭刺激」による大脳皮質血流量への影響—NIRS (光トポグラフィ) による検討—. 獨協医科大学看護学部紀要 第1巻:37-48, 2008
13. 荒添美紀, 石綿啓子, 佐藤佳子, 鈴木明美, 成沢友美 : 看護学生の看護場面におけるコミュニケーション・スキルの変化とその要因. 獨協医科大学看護学部紀要 第2巻 : 12-23, 2009

【症例報告】

【総 説】

和文

1. 茂木泰子, 石綿啓子 : 水中毒患者への看護介入に関する文献の動向. つくば国際大学研究紀要第14号 : 203-209, 2008

【そ の 他】

和文

1. 石綿啓子 : 平成16年全国准看護師資格試験問題「看護と法律」出題傾向と学習ポイント. 准看護師資格試験Vol.45 No.7 : 14-15, 94-100, 2004
2. 藤澤里子, 飯田奈美, 川田香里, 吉田文子, 長田治美, 牧山亜希子, 武良浩子, 石綿啓子, 早坂直子, 福士茂子 : 特集「とことん追及! バイタルサインの測定」. ナーシングカレッジ Vol.8 No.13 : 28-33, 2004
3. 石綿啓子 : 受験全科チェックアップ「看護と法律」. 准看護師資格試験11月臨時増刊号Vol.45 No.15 : 103-111, 2004
4. 石綿啓子 : 資格試験合格ゼミナール「看護と法律」. 准看護師資格試験Vol.46 No.2 : 28-31, 2005
5. 石綿啓子 : 平成17年全国准看護師資格試験問題「看護と法律」出題傾向と学習ポイント. 准看護師資格試験6月臨時増刊号 Vol.46 No.7 : 14, 93-100, 2005
6. 石綿啓子 : 受験全科チェックアップ「看護と法律」. 准看護師資格試験11月臨時増刊号Vol.46 No.14 : 104-111, 2005
7. 石綿啓子 : 資格試験合格ゼミナール「看護と法律」. 准看護師資格試験, Vol.47 No.2 : 40-42, 2006
8. 石綿啓子 : 平成18年全国准看護師資格試験問題「基礎看護技術」出題傾向と学習ポイント. 准看護師資格試験6月臨時増刊号 Vol.47 No.7 : 16, 93-100, 2006
9. 石綿啓子 : ワイド特集看護学生のお悩み解決110番. ナーシングカレッジ Vol.10 No.8 : 49-56, 2006
10. 石綿啓子 : 受験全科チェックアップ「看護と法律」. 准看護師資格試験11月臨時増刊号 Vol.46 No.14:104-111, 2006
11. 石綿啓子 : 資格試験合格ゼミナール「看護と法律」. 准看護師資格試験 Vol.47 No.2:40-42, 2007
12. 石綿啓子 : 事例から学ぶスラスラ実習記録「実習記録を書く目的と看護過程」. ナーシングカレッジ Vol.11 No.4 : 21-23, 2007

13. 石綿啓子：事例から学ぶスラスラ実習記録「情報収集とその書き方のポイント」. ナーシングカレッジ Vol.11 No.5 : 79-81, 2007
14. 石綿啓子：事例から学ぶスラスラ実習記録「アセスメントってどうやって書くの?」. ナーシングカレッジ Vol.11 No.6 : 79-81, 2007
15. 石綿啓子：平成19年全国准看護師資格試験問題「基礎看護技術」出題傾向と学習ポイント. 准看護師資格試験6月臨時増刊号 Vol.48 No.7 : 16,94-118, 2007
16. 石綿啓子：事例から学ぶスラスラ実習記録「看護問題の抽出と問題リストの書き方」. ナーシングカレッジ Vol.11 No.8 : 79-81, 2007
17. 石綿啓子：事例から学ぶスラスラ実習記録「期待される結果と看護計画の記録」. ナーシングカレッジ Vol.11 No.9 : 79-81, 2007
18. 石綿啓子：事例から学ぶスラスラ実習記録「経過記録と評価—SOAPの書き方—」. ナーシングカレッジ Vol.11 No.10 : 79-81, 2007
19. 石綿啓子：2008年看護師国家試験必修問題まるごと対策 目標2「看護の対象者及び看護活動の場に関する基礎的知識を問う」要点整理と4択問題 CHECK&TRY. ナーシングカレッジ10月臨時増刊号 Vol.11 No.12 : 37-64, 2007
20. 石綿啓子：受験全科チェックアップ「看護と法律」. 准看護師資格試験11月臨時増刊号 Vol.48 No.14 : 104-111, 2007
21. 石綿啓子：資格試験合格ゼミナール「看護と法律」. 准看護師資格試験 Vol.49 No.2 : 38-40, 2008
22. 石綿啓子：平成20年全国准看護師資格試験問題「基礎看護技術」出題傾向と学習ポイント. 准看護師資格試験6月臨時増刊号 Vol.49 No.7 : 16,94-117, 2008
23. 石綿啓子：受験全科チェックアップ「看護と法律」. 准看護師資格試験11月臨時増刊号 Vol.49 No.14 : 112-119, 2008
24. 石綿啓子：資格試験合格ゼミナール「看護と法律」. 准看護師資格試験 Vol.50 No.2 : 30-32, 2009

教育・研究業績書

領域名	職名	氏名	
基礎看護学	講師	豊田 省子	
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1977年 4月～現在	日本看護協会・同栃木県支部会員		
2000年 4月～現在	日本カウンセリング学会・同栃木県支部会員		
2001年 4月～現在	日本看護学教育学会員		
2002年 4月～現在	日本医学教育学会員		
2003年 11月～現在	日本認定カウンセラー学会員		
2005年 4月～現在	日本看護技術学会員		
2008年 4月～現在	日本看護科学学会員		
2009年 4月～現在	北日本看護学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. 菅野こずえ, 亀田真美, 里光やよい, 大久保祐子, <u>豊田省子</u> , 野中 静: 基礎看護学の評価方法に関する研究 - 客観的臨床能力試験における評価表の検討 -. 栃木県看護学会誌 10: 81-84, 2004.			
2. 大久保祐子, <u>豊田省子</u> , 里光やよい, 亀田真美, 角田こずえ, 田口ヨウ子, 野中 静: 知識創造と看護実践できる学生を育てるためのSECIモデルに基づく基礎看護学技術演習効果の検討. 自治医科大学看護学部紀要 第3巻: 51-65, 2005.			
3. 里光やよい, 田口ヨウ子, <u>豊田省子</u> , 亀田真美, 角田こずえ, 大久保祐子, 野中 静: 看護におけるコミュニケーション - 基礎看護学実習レポートの分析 -. 自治医科大学看護学部紀要 第3巻: 67-83, 2005.			
4. 佐藤佳子, 米澤弘恵, 荒添美紀, 石綿啓子, <u>豊田省子</u> , 大下静香: 看護師のプリセプターとしての役割意識. 獨協医科大学看護学部紀要 第1巻 13-22, 2007.			
5. 石綿啓子, 茂木泰子, 米澤弘恵, 佐藤佳子, <u>豊田省子</u> , 荒添美紀: 基礎看護学実習(見学)直前の手洗い演習が主体的学習態度に与える因子 - 「見学実習に活かしたこと」の記述内容から -. 獨協医科大学看護学部紀要 第1巻: 29-36, 2007.			
6. <u>豊田省子</u> , 米澤弘恵, 荒添美紀, 野中 静, 石綿啓子, 佐藤佳子, 小口多美子, 村松由紀, 若尾ふさ, 佐々木由恵 樺澤一之: 「清拭刺激」による大脳皮質血流量への影響 - NIRS (near-infrared spectroscopy 光トポグラフィ) による検討. 獨協医科大学看護学部紀要 第1巻: 37-48, 2007.			
7. 清水裕子, 横井郁子, <u>豊田省子</u> , 梅村美代志, 鈴木玲子, 大久保祐子, 里光やよい: 看護教育における模擬患者 (SP; Simulated Patient・Standardized Patient) に関する研究の特徴. 日本保健科学学会誌 10: 215-223, 2008.			
8. 池本厚子, <u>豊田省子</u> , 野中 静: 「痛み」や「だるさ」を持つ成人女性に対するリフレクソロジーの効果. 聖母大学紀要 第5号: 31-37, 2008.			

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】

和文

1. 豊田省子：看護教員がSPとなってわかったこと 私の模擬患者体験. 看護教育 45：828－833, 2004.
2. 大久保祐子, 里光やよい, 角田こずえ, 亀田真美, 豊田省子, 野中 静：看護実践能力試験の試み SPへの看護体験は成長のチャンス. 看護教育 45：839－843, 2004.